

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0990100182		
法人名	株式会社 トゥルーケア		
事業所名	グループホーム ハイブリッジ 1丁目		
所在地	栃木県宇都宮市若松原1丁目11-10		
自己評価作成日	平成27年9月19日	評価結果市町村受理日	平成27年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設での安心安全な生活を第一に考えている。そして、少しでも満足していただけるように、毎月のイベントを充実させるよう努めている。合わせてその時に、常に家族に声をかけて参加していただいています。また、施設から出て買い物を楽しんでもらう事。出来るだけ外に出て行って、活動していく事。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/09/index.php
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は市南部の住宅街に位置し、近隣には総合運動公園や警察署、消防署などの公的機関のほか多くのスーパー、商店があり利便性に恵まれた環境にある。1階部分に2ユニット、2階部分に1ユニットの3ユニットからなり、敷地内には地域や家族との交流拠点となる交流センターが併設されている。職員は、明るく元気に挨拶、いつも笑顔でゆとりの介護という理念のもとに家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの思いに沿って普通の暮らしを続けていけるよう日々の支援に努めている。また、交流センターを有効に活用して地域の方や家族の参加を得ながら毎月3ユニット合同の食事を開催したり、季節ごとの行事などを行っている。さらに地域のお祭りにも積極的に参加するなど地域との交流、かかわりを大切にしながら事業所の理解促進にも努めている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成 27年 9月 29日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に明るさを絶やさず、ゆとりある介護に徹する様努めている。	職員はもとより利用者、家族とも絶えず理念を共有するため、昨年からそれまでの理念をわかりやすく要約したものを大きく掲示し、折に触れて振り返りながら実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の協力者を交えてのイベントをはじめ、地域の行事にも参加するように努力している。	事業所主催のクリスマス会や敬老会などに地域の住民に声をかけ参加してもらったり、地域のお祭りに参加するなど積極的に交流を図っている。また、多くのボランティアを受け入れるとともに自治会にも加入し、地域とのかかわりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生委員の協力を得て、交流を得ている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的実施して、地域の協力者と共に運営推進会議を運営している。	家族、民生委員、自治会役員、地域包括支援センター職員の参加を得て、偶数月の第2火曜日に開催している。会議では、運営状況について報告するとともに、学生ボランティアの活用など出された意見を運営に活かしている。	さらなるサービスの向上のため、テーマによっては消防や警察など幅広い関係者の参加が得られるような働きかけを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地区の包括の職員をイベントに招待したりしながら、状況を見て頂いています。	地域包括支援センターの職員には運営推進会議などで、随時報告するとともにアドバイスをもらっている。また、市に対しても区分変更時など折に触れ実情を伝え連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日々入居者様に対しては、決して拘束をするような介護はしてはならないということを義務付けている。	身体拘束排除マニュアルを作成し、日頃から拘束のないケアに努めている。言葉づかいについても、命令的にならないよう管理者はじめ職員がお互いにその場で注意しあっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常日頃より、入居者の実態を把握しながら、入居者への虐待な行為を絶対ないよう指導している。		

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者一人一人の立場や状況を把握しながら家族様とも常に話し合う機会を設定し支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、くまなく説明を行い納得いくように、実施している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様へは、毎月入居状況を通知しながら、要望等を聴くようにしている。	利用者の要望などは日頃から丁寧に聞くよう心がけるとともに家族の面会時などを通じ積極的に意見、要望を聞いている。遠方の家族にはファックスを利用して意向の把握に努め、申し送りノートを活用してこれらを運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員とは、毎月初めに実施している各フロア一長とのリーダー会、職員等の全体会を実施したり、各フロアにおいて実施しているカンファレンスにも必ず参加して、情報を受け入れている	管理者は毎月のリーダー会議、全体会議に出席し職員の意見や提案を聞いている。会議では車いすの利用や食事介護の仕方などの意見が出され利用者のケアに反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各フロアの状況を見ながら、職員の仕事の状況を把握している。仕事の状況において、残業の手当を申請したり、配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	若い職員が少ないことから、職員間に任せられている事が多くなっているが、スキルアップして行けるような研修には、出来る限り推薦している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の交流する機会には、必ず参加して他の事業所との情報交換と行っている。		

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	状況を見ながら、特に入居者の情報を把握する事と、既存資料を見てきっかけを探り当てていくようにしてる。資料を必ずみなおす事も、心掛けている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様との話し合いを密にしながら、お互いを理解しながら、信頼関係を築き上げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	特に家族様は介護の情報が少ないことが多い為、少しでも現在の状況を理解して頂くことから、進めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のすみかはこちらなんですよという声掛けを常に行い、不安な状況にならないように心掛けている。決して押し付けないことに心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の家族構成を理解して、家族様の理解者であることを、理解して頂くよう努めて行きながら、築き上げている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様が入居されたときに、今まで使っていたものを持参して頂いたり、衣類を持ってきてもらったりしている。	近所の方の面会や遠方からの親戚の訪問があり、利用者にとって良い刺激となっている。また、手紙やファックス送付の支援のほか美容院やお墓参りなどこれまでの人や場所との関係が維持できるよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	イベントやレクリエーション等において、同じ作業をして頂いたり、共通することを見つけるようにしながら、関係を築き上げている。		

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設退居されてからも、情報を入手したりしているのも、特別なことがあったりしたときには、施設に連絡があります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の要望等に満足して頂けるよう、フロア内のカンファレンスを実施して協議しながら、努めている。	入居時や家族の訪問時の話から利用者の情報を十分把握したうえで、やさしく声掛けし思いや意向を引き出すよう努めている。意思疎通の困難な利用者については、家族の協力を得ながら職員全員でカンファレンスをし本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様より今までの生活状況を理解しながら、ご本人に沿ったケアをしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録をもとにしながら、実際の状況を常に理解して、向上心を欠かさないようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスと家族様が面会やイベントにいられた時を利用して、現状に沿った計画を作成している。	利用者、家族の意向を十分把握し、ケアマネジャー、管理者、フロア長によるカンファレンスを行い、3か月ごとに見直しをしている。状態の変化があった場合はその都度見直すとともに家族にも説明している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活記録と申し送りを作成して、介護計画が遅滞なく実践されているかを見ている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の要望やニーズに対しては、家族の協力等得ながら、状況に応じては本部の協力を得る事もある。		

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域に設立されている、県の運動公園を利用しながら、春は花見に出かけたり、季節に応じて利用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調に応じて主治医に相談しながら、最適な医療を受診して行けるよう支援している。	入所時に家族との話し合いにより協力医療機関をかかりつけ医としており、月2回の往診がある。歯科、眼科等の診療はそれまでのかかりつけ医となっており家族の協力のもとに適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設では訪問看護等は来ていないので、情報等に関しては、主治医である山口クリニックのドクター又看護師からの情報を得ようとしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入院に関しては、施設近辺の病院を出来る限り使わせていただき、入院中の情報を把握しながら、退院後の介護に役立てている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本施設では、看取り介護の加算は取得していませんが、入居者様の終末期に対しては、ご家族様と早めに相談する機会を設けていき、入居者様に沿ったケアを考えている。	事業所としてできること、できないことを家族に説明したうえで、協力医療機関の協力のもとに家族の意向に沿った支援に努めている。現在1名の看取りをしている。	看取りに関するマニュアルは整備されているが、職員全員がより深い理解をもっていつでも対応ができるよう、具体的な対応手順等の作成を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員の応急手当等の訓練については、現状ではなかなか厳しいものがありますが、資料を取り寄せたりしながら、対応している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の協力者の皆様には、施設の為に町内の協力体制を合わせて実施している。	年2回の防災訓練を実施している。非常時連絡網が整備され、訓練には非番の職員も可能な限り参加している。	予期せぬ災害に備え、水、食料等の備蓄と災害時に地域住民の協力が得られるよう自治会などへの働きかけを期待したい。

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の居室におけるプライバシーを常に理解している。本人らしさを大切にしている。	年長者として敬い、なれなれしい言葉遣いや命令調にならないよう注意している。基本的には「さん」付けで呼ぶとともに入室にはノックをする、トイレドアは必ず閉めるなどプライバシーを損ねないよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望に沿ったケアを第一に、そして、家族とのコミュニケーションを大切にしながら介護している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護職員の都合による介護をすることのないよう、入居者様を尊重した支援を実施している。必ず、見直し検討をしながら実施する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者様の個性を生かせるように、気を付けている。特に女性に関して、女性であるような服装から身だしなみをするようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	施設内の業者による食事だけではなく、時より職員と入居者様と共同で作成しながら提供する様にしたしり心掛けている。	毎月、交流センターを利用して3ユニット合同の食事会を開催し、季節に応じた旬の料理を家族、地域の方とともに楽しんでいる。利用者はテーブル拭きや食器の後片付けなどを一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の確認と生活状況を合わせて、環境の変化の妨げにならないように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者様の中には、ご自分の歯を持って大事にケアをしている。入れ歯においても、衛生面を考えてうがい等を常に実施している。		

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様が不快感を感じることはないように、排泄パターンを把握しながら、介護に努めている。トイレでの自立に向けた支援を実施している。	排泄パターンを把握するとともに表情や仕草を観察して、早めの声掛けにより自立排泄の支援をしている。夜間もトイレ誘導しているが、パターンを把握しているので失禁は少ない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者様のADLを把握しながら、食後の運動と食事の内容を考えている。また、主治医との情報交換を絶やさないようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	施設としては、週2回になっていますが、状況に応じて、臨機応変に対応している。	週2回の入浴を基本としているが、希望のある利用者や発汗の多い利用者などは毎日入浴しており柔軟に対応している。また、入浴剤の使用など楽しめる工夫もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の状況に応じたケアを常に考え、安眠できるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医のドクタと協力しながら、適切な対応を実施し症状の変化に対して即座に対応して行けるよう心がけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様一人ひとりの個性を尊重しながら、個人の役割を与えたり、イベントを実施している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の近辺にある、栃木県の運動公園を利用しながら、家族と共に楽しい時間を過ごせる様に努めている。	利用者の希望により家族の協力を得ながら外出支援をしている。また、日常的には交流センター近辺を散歩したり、ショッピングモールやスーパーなどへの買い物支援をしている。	

グループホームハイブリッジ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様には、一人ひとり小遣い帳を作り、小口の財布を利用して、支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様に対しては、家族への連絡をご自身にして頂いたり、手紙を書いて頂くこととしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設全体の色彩等に関しては、各フロアにおいて個性を生かしながら、居心地の良い環境づくりを行っている。	共用空間には季節の花や写真、利用者の制作した書道、貼り絵などが飾られている。また、毎日昼食後に清掃がされ、清潔で明るく居心地のよい空間となっている。なお、食堂兼リビングではテレビの見易さなど座席の配置に配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設におけるセカンドフロア等は設けてはいませんが、玄関のフロア等また、交流センターを利用しながら居場所の工夫を実施している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の際に、本人の使いやすい物や使い慣れた物を持参したりして、少しでも心地よい居室を目指している。	ベッド、カーテン、整理ダンスは備付となっているが、その他は好みによってテレビや机、位牌などが持ち込まれている。また、思い出の写真などが飾られ居心地良く過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の家族の写真等、また、衣類の整理整頓、居室内の清掃をしたりしながらご自分の生活を見いだせる様、支援している。		